



高坂町には、いい所がたくさんあります。

まず、山や川の自然にめぐまれ、田んぼも多くて景色がきれいなことです。

夏は、田んぼの稲が緑色にきらきら輝いています。緑色の稲がさやさや風にゆれている様を見ると、とても心がいやされます。

秋には、稲の穂が色づき、黄金色に変化します。

高坂町の中で、一番よく知られているところといえば、仏通寺です。

仏通寺では、イチヨウやモミジが楽しめます。

春は若葉が見れて、秋は紅葉が楽しめます。紅葉を見に多くの観光客が訪れます。イチヨウの黄色のじゅうたんやモミジの赤色のじゅうたんも楽しめます。高坂小では、毎年、全校児童で紅葉を見に行っています。とてもきれいでいやされます。

高坂町の特産物として、おいしいぶどうがあります。三原市では、高坂町が主な産地です。ニューベリー、キャンベル、ふじみのり、安芸クイーン、ピオーネ、ゴルビーなどの品種がさいばいされています。わたしのおすすめは、安芸クイーンです。

高坂町は、自然が豊かな町です。

わたしは、この町が好きです。

ぜひ一度、来てください。

わがまちに望む夢

三原の未来を担う子ども達の声を紹介します

—連載第3回—

歴史と伝統のある、私たちの久井南

私たちの学校は、四年前に中野小学校と坂井原小学校が統合して、新しい久井南小学校ができました。その時校歌も新しくできたのですが、とても馴染み深い歌なのです。それは、校歌にうたわれている歴史を三つ紹介します。

一つ目は、坂井原の鷹羽山です。この山は、校舎の窓から見え、稜線がとてもきれいで、地域の人々にとっても馴染みのある山です。

二つ目は、昇雲の滝です。その昔、この滝から竜が現れ滝を登り、雲を突き抜け天に上って行ったという言い伝えのある滝です。

三つ目は、安芸牛備後牛と呼ばれる岩です。久井町は、昔安芸の国と備後の国の境にあり、土地の奪い合いがあったそうです。決着を付けるために、互いに牛同士を引き合わせ、勝った方が土地を取ることになったそうです。しかし、勝負はいつまでもたってもつかないので、人々は牛を放って、家に帰ったそうです。しばらくして、見に行ったらところ、牛は固まり、岩になってしまっていたそうです。

牛のことをかわいそうに思った人々は、仲直りして、互いに協力し合って暮らしたそうです。

このように、私たちの地域には美しい自然や伝統が残され、とても住みやすい町です。

私は、こんな久井南が大好きです。

